

『自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位の一方のみ異常な変動性を示す脳卒中患者の把握と特徴（仮）』

【目的】脳卒中後には、身体の垂直認知である自覚的姿勢垂直位や視覚的な垂直認知である自覚的視性垂直位を測定する際に、1回1回の測定結果がばらつくことが報告されています。このばらつき（変動性）はバランスの障害や半側空間無視という症状などと関係する可能性が示されています。しかし、注意障害により自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位の両方の変動性が大きくなる方が多い可能性があり、どちらか一方のみの変動性が大きい方がおられるかは分かっていません。本研究の目的は自覚的姿勢垂直位と自覚的視性垂直位の変動性において一方のみが大きい方がおられるかとその特徴を調べることです。

【期間】研究許可日～2024年3月31日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

整理番号 2175 の研究「脳卒中患者における自覚的姿勢垂直位の信頼性の調査」の研究の対象者となった方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、既往歴、視覚的と身体的な垂直認知の検査の結果

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士

研究責任者 早瀬 裕之